

部 局 名	子ども部
部 局 長 名	星 範之
部の運営方針	○我孫子市第四次総合計画基本構想の基本目標3「子どもと子育てにあたたかいまちづくり」に基づき、若い世代が我孫子を選び、移り住んでもらえるよう、また、これからもずっと住み続けてもらえるよう子育て・子育て支援施策を総合的に推進します。さらに、子ども・子育て支援事業計画を兼ねた「第五次我孫子市こども総合計画」の進行管理を行い、乳幼児期の保育と教育や地域の子ども子育て支援策の充実を図ります。 ・少子化対策として、妊娠・出産・子育て・子育てへの切れ目ない支援を推進していきます。 ・子育て支援拠点施設を核とし、妊娠期からを視野に入れ、孤立せず安心して生き活きと子育てができる環境づくりに努めます。また、保育園内に設置された子育て支援拠点施設と地域との連携をさらに密にすることで、地域の子育て力の向上を図り、多様な子育て支援事業を展開します。 ・「第四次我孫子市保育園等整備計画」に基づき、保育園や認定こども園・幼稚園等の認可定員や利用定員の管理に努め、待機児童ゼロを堅持し続ける体制づくりに取り組みます。 ・「我孫子市保育園等長寿命化計画」に基づき、公立保育園の安全及び衛生の確保をはじめとした維持管理を図ります。 ・市内の保育園や認定こども園・幼稚園等と連携し、子育てと就労の両立支援策の充実を図るとともに、乳幼児期に質の高い保育・教育等の提供が受けられるよう指導・調整に努めます。さらに、育ちと学びの接続を重視し、幼児期教育と小学校教育との連携を推進します。 ・「第五次我孫子市こども総合計画」に基づき、学童保育室とあびっ子クラブ、それぞれの事業の目的に沿って、子ども達の放課後が充実するよう施設の環境整備や質の向上に努めます。 ・「子ども家庭総合支援拠点」と「子育て世代包括支援センター」の連携からより一歩前進させるため、令和8年度の「こども家庭センター」設置に向け、準備を進めます。こども家庭センターでは、育児や家庭環境など子どもと家庭に関する相談やサポートプランの作成、児童虐待の早期発見・早期対応に努めるとともに、関係機関との連携を強化し、支援を要する妊産婦等にも積極的に働きかけ指導・助言を行います。また、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止の啓発活動に取り組んでいきます。 ・いじめ問題に対しては、教育委員会と連携し「いじめ問題防止対策連絡協議会」を開催し、関係機関相互の連携強化を図り、いじめ防止等の対策を推進します。 ・子育てを応援するため、子ども医療費助成をはじめ子育て世帯に対する経済的な負担軽減を、引き続き推進します。 ・「第3期我孫子市子ども発達支援計画」に基づき、発達支援、家族支援、地域支援の充実と機能強化を図り、発達に支援が必要な子どもの乳

	幼児期からの一貫した支援体制作りを推進していきます。そのため「療育・教育システム連絡会」において、関係機関との連携を深め、早期発見からライフステージに応じた切れ目のない支援体制の構築を進めます。 ・発達に支援が必要な子どもが早期に適切な療育支援を受けられるよう、公平、適切、迅速に児童通所支援の利用決定を行うとともに、そのための相談支援体制の充実を図ります。 ・子どもたちの生きる力を育むため、子どもの自然体験・生活体験事業の実施や青少年育成団体の活動を支援します。
--	--

部 局 名	子ども部
部 局 長 名	山崎 美弥子
部の運営方針 に対する総合 評価	令和4年度からスタートした第四次総合計画基本構想の基本目標の1つである「子どもと子育てにあたたかいまちづくり」や、まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の1つである「あびこで子どもを産み、育てたくなるまちづくり」、第五次子ども総合計画の基本理念である「あびこの自然やひとの愛に包まれて、すべての子どもが自分らしく育つまち」に基づき、若い世代が我孫子を選び、移り住んでもらえるよう、また、これからもずっと住み続けてもらえるよう子育て・子育て支援施策を総合的に推進することを念頭に、部の運営方針に基づき、3課が各事業の適正な実施及び充実に遅滞なく取り組み、子育て・子育て支援施策の推進が着実に図れたと評価します。 なお、令和7年度は、令和8年度の「こども家庭センター」設置に向け順調に準備を進めるとともに、物価高騰の影響が長期化するなか、子育て世帯に対し経済的支援として我孫子市物価高対応子育て応援手当を支給することで、物価高騰対策にも取り組みました。

令和7年度
課の目標管理書

課 名 : 子ども支援課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

部の運営方針に基づき、次のとおり取り組みます。

1. 子ども施策を一体的に推進するため、次世代育成支援行動計画、子ども・子育て支援事業計画に加え、子ども・若者計画、こどもの貧困の解消に向けた対策計画、放課後児童対策推進のための行動計画及びひとり親自立促進計画を包含し策定した、第五次こども総合計画（令和7年度～令和11年度）を着実に推進し、子育て・子育て支援策の充実を図ります。
2. 子育てを応援するため、ひとり親家庭への支援、子ども医療費の助成、児童手当及び児童扶養手当等の適正な支給に努め、子育て世帯に対する経済的な負担軽減を推進します。
3. 第五次こども総合計画に基づき、学童保育室とあびっ子クラブの一体的な運営と、保育環境の整備や職員の質の向上、処遇改善に努めます。
4. 子どもの成長や自立を促進するため、青少年育成団体の活動を支援し、子どもの体験活動や子どもが参加するイベントを実施します。

2. 課の目標への取組結果

子育てへの経済的支援のうち県外医療機関での子ども医療受給券の適用については、令和7年7月から1医療機関、8月から周辺の5薬局で受給券適用が可能となりました。また、当初予定していなかった子育て応援手当の支給を含め、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

通常の手当や助成に加え、子育て応援手当の支給を実施し、経済的な支援をすることができました。
学童保育室とあびっ子クラブは民間委託によりスタッフも確保でき、保育環境などの安定化を図ることができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

各事業を引き続き順調に運営していきます。
学童保育室の運営は、共働き世帯の増加に伴いニーズが高まっています。子ども達の安全を確保するための保育環境を整備するなど、引き続き事業を実施していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	子ども総合計画の策定及び進行管理		
	担当部署名	子ども部 子ども支援課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援		
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。		
事務事業の目的 ・概要	子ども・子育て支援法及び次世代育成支援対策推進法に基づく我孫子市子ども総合計画を策定し、施策や事業が計画的・効率的に進められるよう進行管理を行います。 また、市長の諮問機関として我孫子市子ども・子育て会議を設置し、市民からの意見を計画推進に反映させます。			
関連する市の計画等	第五次我孫子市こども総合計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	こども総合計画の進行管理			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	3,202	0	令和5年度（年度末時点）	2.20 0.09
令和6年度	決算見込額	3,202	0	令和6年度（年度末時点）	2.15 0.00
令和7年度	当初予算額	105	0	令和7年度 4月1日時点	1.55 0.00
	補正後予算額	105	0		
	決算額	85	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	1.55 0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	子ども・子育て会議の開催回数	回	目標値	3	4	5	5	3	3	4
			実績値	3	3	4	5	2		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	子ども・子育て会議を開催し、第五次我孫子市子ども総合計画に記載されている事業の進行管理を行うことで、各事業の実効性を確保することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	子ども行政を総合的に推進していくため、第五次我孫子市こども総合計画に記載されている各事業の進行管理を行い、引き続き推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	放課後対策事業	
	担当部署名	子ども部 子ども支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。	
事務事業の目的 ・概要	保護者の就労や子育てを支援するため、児童が安全に安心して放課後を過ごせる学童保育室を運営していきます。		
関連する市の計画等	第五次我孫子市こども総合計画 我孫子市学童保育室・あびっ子クラブ長寿命化計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	学童保育室の運営		
	学童保育室の整備		
	放課後児童支援員等処遇改善		
債務負担行為設定事業	我孫子市学童保育室及びあびっ子クラブ運営管理業務委託 ※すべて「あびっ子クラブ運営管理業務委託料」を含む 一小、布佐小、布佐南小：R5～R7 270,658千円 三小、四小、根戸小：R7～R10 638,485千円 二小、新木小：R7～R11 298,658千円 並木小：R7～R11 152,365千円 一小、布佐小、布佐南小：R7～R12 431,380千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	215,598	0	令和5年度（年度末時点）		1.80	24.90
令和6年度	決算見込額	217,255	0	令和6年度（年度末時点）		2.00	27.82
令和7年度	当初予算額	232,532	0	令和7年度	4月1日時点	2.30	18.43
	補正後予算額	230,905	0		年度末時点	2.30	18.43
	決算額	228,731	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	学童保育室における事故報告件数	件	目標値	20	20	20	20	20	20	20
			実績値	28	18	16	28	24		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	子育て支援として、学童保育室の運営を安全に行うことができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	学童保育室の運営は、共働き世帯の増加に伴いニーズが高まっています。子ども達の安全を確保するための保育環境を整備するなど、引き続き事業を実施していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	子育てへの経済的支援		
	担当部署名	子ども部 子ども支援課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援		
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。		
事務事業の目的 ・概要	子育て家庭の経済的負担を軽減するため、児童手当の支給、子ども医療費の助成を行うほか、家庭環境に応じた各種支援を行います。			
関連する市の計画等	第五次我孫子市こども総合計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	児童手当支給事業			
	子ども医療費助成事業			
	未熟児養育医療			
	ひとり親家庭等医療費助成事業			
	児童扶養手当支給事業			
	母子家庭等相談・自立支援事業			
	指 県外医療機関での子ども医療受給券の適用			
	子育て応援手当			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	2,509,042	0	令和5年度（年度末時点）	7.20 2.15
令和6年度	決算見込額	2,607,544	0	令和6年度（年度末時点）	7.15 2.16
令和7年度	当初予算額	3,242,410	0	令和7年度	4月1日時点 7.00 2.10
	補正後予算額	3,411,605	0		
	決算額	3,355,573	0		
	次年度へ繰越	17,489	0	令和7年度	年度末時点 7.00 2.10

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	支援を必要とする者に対する適正助成率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	児童手当等の各種手当を子育て世帯に対し適正に経済的支援を実施することができました。また、県外医療機関での受給券適用について調整をはかり、JAとりで総合医療センター及び周辺の門前薬局で、子ども医療受給券の現物給付が可能となりました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	子育て世帯への経済的支援は少子化が進む中で必要不可欠であり、国・県・市が一体となって推進していく必要があります。引き続き子育て世帯に必要な利便性の向上に努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	子どもの自主性を育むイベントの実施		
	担当部署名	子ども部 子ども支援課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－4 心豊かにする体験・活動の推進		
	施策の展開内容	子どもたちが心豊かに成長できるよう、家庭・学校・地域・行政が連携しながら、さまざまな体験や活動に参加できる環境づくりを進めます。		
事務事業の目的 ・概要	子どもたちが心豊かに成長できるよう、家庭・学校・地域・行政が連携しながら、地域に根差したさまざまな体験や活動に参加できる環境づくりを進めるとともに、青少年の健やかな育成に対する地域住民の理解を深める取組を進めます。			
関連する市の計画等	第五次我孫子市こども総合計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	あびこ子どもまつり			
	げんきフェスタ			
	青少年相談員事業への支援			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	830	0	令和5年度（年度末時点）	1.00 0.00
令和6年度	決算見込額	1,174	0	令和6年度（年度末時点）	1.20 0.00
令和7年度	当初予算額	1,108	0	令和7年度 4月1日時点	1.55 0.00
	補正後予算額	913	0		
	決算額	901	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	1.55 0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	手賀の丘宿泊事業の参加者数	人	目標値	64	64	64	32	-	-	-
			実績値	中止	中止	53	35			
活動 指標	我孫子市青少年相談員連絡協議会が主催する事業数	回	目標値	4	4	4	4	4	4	4
			実績値	4	3	3	3	4		
成果 指標	手賀の丘宿泊事業参加者アンケートにおける「参加してよかった」人数の割合	%	目標値	中止	90	90	45	-	-	-
			実績値	中止	中止	100	97			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	げんきフェスタやあびこ子どもまつりについては、多くの子どもたちが参加し地域に根差したイベントであることが確認できました。企画内容や運営方法については、年毎に見直しを図り次年度以降に反映し、より一層楽しめるイベントになるよう努めます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	各種イベントや青少年相談員への適切な支援を行い、様々な体験や活動の機会に触れることができる環境づくりに努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	子どもの居場所づくり（あびっ子クラブ）	
	担当部署名	子ども部 子ども支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－4 心豊かにする体験・活動の推進	
	施策の展開内容	子どもたちが心豊かに成長できるよう、家庭・学校・地域・行政が連携しながら、さまざまな体験や活動に参加できる環境づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	放課後の子どもたちが安全に安心して遊ぶことができるよう、あびっ子クラブを運営するとともに、地域住民と連携してさまざまな活動の場を通して交流を図っていきます。		
関連する市の計画等	第五次我孫子市こども総合計画 我孫子市学童保育室・あびっ子クラブ長寿命化計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	あびっ子クラブの運営		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	我孫子市学童保育室及びあびっ子クラブ運営管理業務委託 ※すべて「学童保育室運営管理業務委託料」を含む 一小、布佐小、布佐南小：R5～R7 270,658千円 三小、四小、根戸小：R7～R10 638,485千円 二小、新木小：R7～R11 298,658千円 並木小：R7～R11 152,365千円 一小、布佐小、布佐南小：R7～R12 431,380千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	66,922	0	令和5年度（年度末時点）		1.80	12.32
令和6年度	決算見込額	66,687	0	令和6年度（年度末時点）		2.00	6.45
令和7年度	当初予算額	81,799	0	令和7年度	4月1日時点	2.10	10.19
	補正後予算額	81,364	0				
	決算額	80,945	0		年度末時点	2.10	10.19
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	サポーターの登録数	人	目標値	200	160	165	170	170	170	170
			実績値	135	150	155	161	168		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	地域住民（サポーター）の方や学校と連携しながら、子どもたちが安全・安心して過ごせる居場所の一つとして事業を実施しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	子どもたちの居場所の一つとして、引き続き事業を運営していきます。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：保育課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

1. 妊娠期からを視野に入れ、子育て中の親子が孤立することなく、地域の中で安心して子育てできる環境を整えるとともに、地域や保護者の「子育て力」を育むため、子育て支援施設を核とした親子の交流、子育て相談、子育て情報、地域支援活動（出前保育）等、さまざまな子育て支援施策の充実を図ります。また、保育園内に設置された子育て支援拠点施設と地域との連携をさらに密にすることで、地域の子育て力の向上を図り、多様な子育て支援事業を展開します。
2. 「第四次我孫子市保育園等整備計画」に基づき、保育園等の認可定員や利用定員の管理に努め、待機児童ゼロを堅持し続ける体制づくりに取り組みます。
3. 質の高い給食を継続・安定して提供するため、公立保育園の給食調理業務を計画的に民間委託へと切り替えていきます。令和7年度は、つくし野保育園の給食調理委託に向けて給食調理員専用の休憩室を確保するため、内装改修及び給食調理室内の老朽化したトイレの改修工事を行います。
4. 既存の保育園においては、安全・安心な保育環境を確保するため、計画的に施設修繕・改修を進めます。そのため、寿保育園では、昭和46年に建設された園舎の老朽化に伴い、2階保育室床の修繕を行います。
5. 市内の保育園等と連携し、子育てと就労の両立支援策の充実を図るとともに、未就学児に質の高い保育・教育等の提供ができるように指導・調整に努めます。さらに、育ちと学びの接続を重視し、幼児期教育と小学校教育との連携を推進します。
6. 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の本格実施に向け、各施設と協議を進めながら、定員の確保に取り組みます。
7. ファミリーサポートセンター事業及び病児病後児保育事業については、委託事業者と連携を密にし、より利用しやすい事業となるよう努めます。
8. 幼稚園の預かり保育事業については、事業者との連携や補助金の交付により充実を図り、就労・介護などをしやすい環境づくりを進めます。
9. 幼稚園児の安全・安心な教育環境を確保するため、施設修繕の費用の一部を補助します。
10. 幼稚園から認定こども園等に移行希望のある園に対して支援に努めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、予定していた事業を滞りなく実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

在園児保護者をはじめ、子育て家庭の様々なニーズに対応しながら、滞りなく事業を執行しました。
また、保育園等の施設とも連携を密にし、滞りなく事業を執行しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

「第四次我孫子市保育園等整備計画（改定版）」に基づき、保育園等の認可定員や利用定員の管理に努め、待機児童ゼロを堅持し続ける体制づくりに取り組みます。また、妊娠期から出産・子育て・子育てへの切れ目ない支援を推進するため、子育て支援拠点を核とし、孤立せず安心して子育てができる環境づくりに努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域での子育て支援の充実		
	担当部署名	子ども部 保育課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援		
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。		
事務事業の目的 ・概要	地域の中で安心して子育てが出来るよう、地域の人や事業者と連携し、乳幼児や保護者同士が交流できる場の提供や一時的に子どもを預けることができる制度など、ニーズに応じたさまざまな事業を行っていきます。			
関連する市の計画等	我孫子市子ども総合計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	ファミリーサポートセンター事業の推進			
	一時預かり事業			
	企業参加の子育て支援			
	子育てサポーターの養成と地域活動の推進			
	利用者支援事業			
	子育て支援拠点事業			
	市立保育園の地域子育て事業			
	病児・病後児保育事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	ファミリーサポートセンター事業運営委託 R7～9年度 39,600千円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	66,950	0	令和5年度（年度末時点）		3.20	8.80
令和6年度	決算見込額	61,249	0	令和6年度（年度末時点）		2.60	9.60
令和7年度	当初予算額	76,420	0	令和7年度	4月1日時点	4.20	8.80
	補正後予算額	69,632	0				
	決算額	69,184	0				
	次年度へ繰越	0	0		年度末時点	4.20	10.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	子育て支援センター利用者数	人	目標値	36,861	36,861	36,861	36,861	36,861	36,861	36,861
			実績値	22,100	29,641	36,936	39,698	38,584		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	地域の中で安心して子育てができるよう、様々な子育て支援を提供しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	保護者のニーズに寄り添い、必要な支援を提供していくことが引き続き必要になります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	未就学児の教育・保育環境の充実	
	担当部署名	子ども部 保育課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。	
事務事業の目的 ・概要	・安心して子どもを産み育てられるよう、保育ニーズに応じた人材の確保と保育の質の向上に取り組みます。 ・保護者の多様なニーズに対応するため、幼稚園などさまざまな子育てのための施設の利用者支援や延長保育に対する支援を行います。		
関連する市の計画等	我孫子市子ども総合計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	保育園・幼稚園の放射能対策		市立保育園園舎等補修事業
	産休・育休予約事業		世代間交流事業の促進
	市立保育園運営事業		つくし野保育園休憩室等内装改修工事
	私立保育園・管外保育園への保育実施委託		標準化関連システム（子ども・子育て支援）導入・運用保守業務
	私立保育園運営費補助金交付事業		
	私立保育園等施設整備への補助		
	私立幼稚園の運営支援		
	障害児保育・統合保育事業		
	幼稚園における子育て支援事業の実施		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	湖北台保育園給食調理業務委託 R6～R8年度 38,808千円		

2. 事業費及び人工 (Plan&Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	4,341,028	0	令和5年度 (年度末時点)		73.10	76.00
令和6年度	決算見込額	4,615,012	0	令和6年度 (年度末時点)		74.90	80.80
令和7年度	当初予算額	4,743,601	0	令和7年度	4月1日時点	73.40	79.20
	補正後予算額	4,991,362	0		年度末時点	73.40	79.20
	決算額	4,954,518	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	保育園への入園を希望する児童の入園率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	・必要な家庭に保育を提供し、安心して子育てができる環境を提供しました。 ・標準化関連システム（子ども・子育て支援）導入・運用保守業務については、全国的な標準化対応に伴い委託事業者において従事人員が不足したため、令和7年度中の完了が困難となり、業務の一部を令和8年度に繰り延べることにしました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	私立保育園等及び私立幼稚園への補助金について、全庁的に実施する事業見直しの一環として、令和8年度より一部事業を終了又は事業内容を変更することとしました。

令和7年度 課の目標管理書

課 名 : 子ども相談課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

部の運営方針に基づき、次の通り取り組みます。

1. 「子ども家庭総合支援拠点」としての機能を維持しながら、健康づくり支援課内の「子育て世代包括支援センター」との連携をより強固にするため、令和8年度の「こども家庭センター」開設に向け準備を進めるとともに、子ども自身や保護者からの相談に的確な支援を行います。
2. 子どもへの虐待による重大事態を二度と起こさないよう、保育園や学校等子どもが所属する機関の他、関係機関と連携を取りながら迅速かつ確実な支援を行うとともに、保護者に寄り添う相談を実施します。
3. 子ども自身の悩みごとや子育ての困りごとの相談を受けるために、我孫子市公式LINE上に設置した「子ども・子育て相談窓口」を適切に運営し、ヤングケアラーの相談も受け付けます。
4. 日ごろから関係機関と情報共有、連絡調整を行うとともに、「子ども虐待等防止対策地域協議会」において、支援の方針や方法の確認を行い、問題解決に向けて支援の進行管理を行います。
5. 子ども虐待防止についての啓発活動を進めます。
6. 児童通所支援事業では、子ども相談支援事業所においてサービス利用の支援をしつつ、併せて迅速で適切な支給決定を行うとともに、そのための相談支援体制を整備します。
7. 教育委員会と連携し、「いじめ防止対策連絡協議会」を開催して連携を図るほか、いじめによる重大事態が発生した場合、確実な対応を進めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示した通り、すべての取り組みを実施しました。

令和8年度の「こども家庭センター」開設に向け、順調に準備を進めました。

また、困難な状況にある家庭に必要な支援につなぐため、我孫子市子ども虐待等防止対策地域協議会を開催し、関係機関と情報を共有しながら効果的な支援を行うことができました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

LINE相談によって、匿名で気軽に相談ができる新たな窓口ができたことや、ヤングケアラーに関するアンケートを実施するなど、相談したい方が声を上げやすい仕組みを整備することができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

「こども家庭センター」については、令和8年度4月1日から設置し、児童福祉機能と母子保健機能が連携することで、妊産婦、子育て世帯、子どもへの切れ目のない相談支援体制を整備します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	子ども総合相談の推進	
	担当部署名	子ども部 子ども相談課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。	
事務事業の目的 ・概要	虐待、育児、不登校、非行、いじめ、健康、障害、教育など子どもに関するあらゆる相談に対して、児童相談所や学校、警察などの関係機関との連携を強化し、適切に対応できる体制の充実を図ります。		
関連する市の計画等	子ども総合計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	子ども短期入所事業		
	子ども総合相談の推進（LINEアプリの活用）		
	いじめ問題対策連絡協議会等の運営		
	子ども虐待防止・援助活動の推進		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	4,817	0	令和5年度（年度末時点）	4.29 2.95
令和6年度	決算見込額	8,014	0	令和6年度（年度末時点）	3.30 3.44
令和7年度	当初予算額	5,186	0	令和7年度 4月1日時点	5.50 3.49
	補正後予算額	6,387	0		
	決算額	5,870	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	5.50 3.49

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	虐待相談を含めた子どもに関する年間相談受付 件数	件	目標値	600	700	750	750	750	750	750
			実績値	867	876	878	828	906		
成果 指標	子どもに関する相談のうち、終結件数の割合	%	目標値	73	73	73	73	73	73	73
			実績値	80	80	81	77	75		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	LINEによる相談が軌道に乗ったことや、年間相談受付件数が増加したものの、一つひとつの相談に対して丁寧に対応できているため、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業を拡大する	こども家庭センターを設置し、児童福祉機能と母子保健機能が連携することで、妊産婦、子育て世帯、子どもへの切れ目のない相談支援体制を整備します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	児童発達支援事業	
	担当部署名	子ども部 子ども相談課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－2 子どもの成長に応じた発達への支援	
	施策の展開内容	家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	発達に支援が必要な子どもが早期に適切な支援を受けられるよう、公平、適切、迅速に児童通所支援の利用可能日数の決定を行うとともに、そのための相談支援体制の充実に努めます。		
関連する市の計画等	子ども総合計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	児童発達支援事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	674,463	0	令和5年度（年度末時点）	1.50 0.76
令和6年度	決算見込額	807,477	0	令和6年度（年度末時点）	1.50 0.74
令和7年度	当初予算額	814,205	0	令和7年度	4月1日時点 1.70 1.24
	補正後予算額	885,233	0		
	決算額	870,600	0		
	次年度へ繰越	0	0	令和7年度	年度末時点 1.70 1.24

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	児童相談支援給決定者数	人	目標値	360	400	450	450	450	450	450
			実績値	456	489	543	614	672		
成果 指標	児童通所支援利用率	%	目標値	92	93	95	95	95	95	95
			実績値	93	93	97	96	99		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	事業の利用者及び利用日数ともに増加の一途をたっていますが、療育を必要とする子どもに対し、手続きが滞ることなく迅速に支給決定することができたため、順調と評価します。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	発達に支援が必要な子どもに対して、適切にサービスを提供することで、日常生活や社会への適応に効果的な役割を担っているため、引き続き推進します。

令和7年度 課の目標管理書

課 名 : こども発達センター

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

部の運営方針に基づき、次のとおり目標を設定して取り組みます。

○障害が確定されている子どもや発達に支援が必要な子どもが、健やかに成長するためには、早期からの療育的支援が必要です。そのために関係機関が連携し、1歳6ヵ月児健診、3歳児健診、5歳児健診、就学時健診及び子育て相談を実施することで早期発見に努め、個々のニーズに合わせた療育支援を実施します。

○発達に支援が必要な子どもとその家族に対して、早期支援、家族支援、発達支援、地域支援の充実を図ります。

○第3期子ども発達支援計画に基づき、発達に支援が必要な子どもとその家族が乳幼児期から学齢期まで健やかで安定した生活が地域で送れるよう、療育・教育システム連絡会を通じて支援機関の連携を図り、ライフステージに応じた一貫した支援を提供します。

○発達支援の専門性を活かして、地域の幼稚園及び保育園職員や民間児童通所支援事業所の訪問指導や、職員への研修会等を行います。

○ライフダイアリーを有効に活用できるよう、新様式へ変更をしたものを、支援を必要とする子どもを対象として配布をします。また、ライフダイアリーの活用について、利用者と支援者へ周知を図っていきます。

○医療的ケア児等の地域での支援について、実態調査を実施し実数を把握します。

○あらき園厨房から給食を搬入するための工事を実施します。

○施設を安全に利用できるよう、施設の点検と整備を計画的に行います。

2. 課の目標への取組結果

車両購入について、車両の生産中止により入札が不調になり、令和8年度へ予算を繰り越しましたが、そのほかの取り組みは予定通り実施しました。ライフダイアリーの活用について、関係機関や保護者が利用しやすいように様式を見直し配布を開始しました。民間児童通所支援事業所への支援の本格実施に向けて説明会の実施など準備を進めました。あらき園厨房からの給食搬入について工事が完了し、令和8年度からの利用が可能になりました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

「第3期子ども発達支援計画」に基づき、子どもとその家族に対して、療育や相談の支援を行いました。また、「療育・教育システム連絡会」を活用し、関係機関との連携を強化し、切れ目ない支援の推進を行いました。年間を通して、適正な事業の実施ができたと評価しています。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

「第3期子ども発達支援計画」の取り組みを継続するとともに、令和8年度で計画期間が終了するため、「第4期子ども発達支援計画」を令和9年3月までに策定します。令和8年度に「ライフダイアリー」から名称を変更した「ライフサポートファイル」については、利用者と支援者双方へ活用を推進します。その他の事業についても引き続き事業を継続し、市内の親子が安心して療育施設を利用できるように、こども発達センターの事業の充実を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	切れ目のない発達支援体制の充実	
	担当部署名	子ども部　こども発達センター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－2　子どもの成長に応じた発達への支援	
	施策の展開内容	家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	就学時などライフステージに応じた切れ目のない専門的な発達支援が行えるよう、医療、保健、福祉、教育分野のさらなる連携強化を図ります。		
関連する市の計画等	我孫子市子ども発達支援計画、第5次行政改革推進プラン（こども発達センターの業務手法の見直し）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	こども発達センター施設の維持管理		
	就学に関する相談・支援業務		
	療育・教育システムの構築		
	あらき園・こども発達センター渡り廊下設置工事		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	9,488	0	令和5年度（年度末時点）	1.40 0.80
令和6年度	決算見込額	9,020	0	令和6年度（年度末時点）	1.90 0.60
令和7年度	当初予算額	9,232	0	令和7年度	4月1日時点 2.55 0.60
	補正後予算額	8,715	0		
	決算額	8,340	0		
	次年度へ繰越			年度末時点	2.50 0.65

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	施設の維持管理、運営	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	こども発達センターを利用する年長児童とその 保護者に対して支援した割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	療育・教育システム連絡会の会議開催回数	回	目標値	3	2	3	2	2	3	2
			実績値	1	2	3	2	2		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	ライフステージに応じた切れ目のない発達支援に関係機関と連携を図り、事業を滞りなく実施することができたことから、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	ライフステージに応じた切れ目のない発達支援を行っていくため、関係機関とのさらなる連携を強化すること、安全に療育を受けられるために施設維持管理は必要不可欠であることから、現状通り事業を推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域と連携した子どもの発達への支援		
	担当部署名	子ども部　こども発達センター		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－2　子どもの成長に応じた発達への支援		
	施策の展開内容	家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	・子ども一人ひとりの発達に応じた、質の高い発達支援を実施するため、体制の充実を図ります。 ・発達に支援が必要な子どもが、状況に合わせた合理的配慮を受けてのびのびと地域のなかで生活できるよう、幼稚園や保育園、認定こども園、学校などにおいて、発達特性に対する理解や、困難を感じる環境を調整することへの理解を深める取組を進めます。			
関連する市の計画等	我孫子市子ども発達支援計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	あそびの教室による早期支援			
	ケースワーカーによる相談・調整			
	言語聴覚士による相談・訓練			
	作業療法士による相談・訓練			
	理学療法士による相談・訓練			
	心理相談員による相談・訓練			
	児童発達支援事業所「ひまわり」による発達支援			
	相談支援事業所「なの花」の相談支援専門員による児童支援利用計画の作成			
	保育所等訪問支援事業所「おひさま」による発達支援			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	24,610	0	令和5年度（年度末時点）	13.10 18.60
令和6年度	決算見込額	36,141	0	令和6年度（年度末時点）	14.50 16.90
令和7年度	当初予算額	37,546	0	令和7年度	4月1日時点 13.85 16.20
	補正後予算額	35,130	0		年度末時点 13.35 16.10
	決算額	30,103	0		
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	受理面接をした子どもとその保護者に対して支援をした割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	児童発達支援事業利用児の出席率	%	目標値	80	83	85	87	85	85	89
			実績値	80	84	85	82	78		
活動 指標	相談支援専門員による児童支援利用計画の作成数	件	目標値	550	560	570	575	575	575	580
			実績値	540	565	604	703	592		
活動 指標	保育所等訪問支援が必要な子どもに対して支援した割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	児童発達支援事業の出席率は目標値を下回っていますが、体調不良などやむを得ない事情が重なったことが主な原因です。事業全体としては目標を達成していることからほぼ順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	全ての個別事務事業を問題なく実施できたため、引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	発達支援が必要な子どもの早期発見		
	担当部署名	子ども部　こども発達センター		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－2　子どもの成長に応じた発達への支援		
	施策の展開内容	家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	発達に支援が必要な子どもを育てる家庭において重要な保護者の「気づき」を促し、発達特性や障害への理解の促進と親子の愛着関係を育めるように家族への支援を行うとともに、発達に支援が必要な子どもの早期発見につながる取組を進めます。			
関連する市の計画等	我孫子市子ども発達支援計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	ライフダイアリー普及事業			
	発達支援に関する専門職員の派遣			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	359	0	令和5年度（年度末時点）	0.40 0.20
令和6年度	決算見込額	419	0	令和6年度（年度末時点）	0.30 0.20
令和7年度	当初予算額	14	0	令和7年度 4月1日時点	0.40 0.10
	補正後予算額	14	0		
	決算額	8	0		
	次年度へ繰越			年度末時点	0.40 0.10

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	ライフダイアリーの配布数	冊	目標値	760	760	760	760	220	215	760
			実績値	711	726	677	677	163		
活動 指標	幼児健診、子育て相談などにおいて、相談実施 件数	件	目標値	360	350	350	350	315	310	350
			実績値	410	345	389	389	286		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	ライフダイアリー普及事業について、配布対象を焦点化し様式を見直すため、令和8年6月末をもって配布終了としています。発達支援が必要な子どもの早期発見については、健診や子育て相談にて早期に発見し、早期療育につなげられたことからほぼ順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	ライフダイアリー普及事業について、「ライフサポートファイル」として普及に努めます。